**学外者動物施設立ち入りについてのアンケート票**

**提出期限：3月29日（金）午後5時**

**提出先：研究支援課研究協力係　佐野まで**

**（メールでも結構です：****rs-kk.g@asahikawa-med.ac.jp****）**

貴講座名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記載者名

回答は□にチェック、もしくはカッコ内に記載してください。

Q1．ご自分の研究室を訪ねてきた学外者を**動物実験施設**に立ち入らせたことがありますか？

1. **2018年**について

□　なかった

□　あった　→　目的と回数、人数（分かる範囲で結構です）

　　　　　　　　□　見学のみ　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　　□　実験した　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　　□　マスコミ等の取材　　　　　回　延べ　　　　人

1. **2017年**について

□　なかった

□　あった　→　目的と回数、人数（分かる範囲で結構です）

　　　　　　　　□　見学のみ　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　　□　実験した　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　 　□　マスコミ等の取材　　　　　回　延べ　　　　人

Q2．ご自分の研究室を訪ねてきた学外者を**講座内の動物実験室**に立ち入らせたことがありますか？

1. **2018年**について

□　なかった

□　あった　→　目的と回数、人数（分かる範囲で結構です）

　　　　　　　　□　見学のみ　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　　□　実験した　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　　□　マスコミ等の取材　　　　　回　延べ　　　　人

1. **2017年**について

□　なかった

□　あった　→　目的と回数、人数（分かる範囲で結構です）

　　　　　　　　□　見学のみ　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　　□　実験した　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　 　□　マスコミ等の取材　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（裏面へ続く）

Q3．2019年中にご自分の研究室を訪ねてきた学外者を**動物実験施設もしくはご自身の動物実験室に立ち入らせる予定はありますか**？

　　□　ない

　　□　ある　→　場所は？　□　動物実験施設　　□　　自講座内

　　　　　　　　　目的と回数、人数の見込み（分かる範囲で結構です）

　　　　　□　見学のみ　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　□　実験する　　　　　　　　　回　延べ　　　　人

　　　　　□　マスコミ等の取材　　　　　回　延べ　　　　人

Q4．学外者を受け入れる際の責任の所在は動物実験施設と自講座実験室で分けるべきと思いますか？最も近いものを選んでください。

* 全て動物実験施設が責任を負うべき。
* 全て受け入れた講座の責任者が責任を負うべき。
* 動物実験施設は動物実験施設が、自講座の実験室は講座の責任者が負うべき。
* その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q5．「学外者が実際に動物実験をする際には何らかの教育訓練を受けるべき」と考えますか？

　　動物愛護や対外的な視点も交えて、最も近いものを選んでください。

* 本学内で動物実験をする場合には教育訓練は必要だ。
* 動物実験施設（共同実験区域）に入るなら教育訓練は必要だが、講座内であれば講座の責任でやるべき。
* 特に教育訓練は必要ない。
* 場合による（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q6．もし学外者に教育訓練を受けてもらう場合、どのような内容が適当と考えますか？

* 学内研究者と同じ内容。
* 時間を短縮した、概要や本学施設の入退室を中心とした内容。
* 予めビデオや資料を配布し、確認のための簡単なテストを受けてもらう程度。
* 自己申告（誓約書等）のみで十分。

□　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q7．動物実験についてマスコミ等の取材を受け実験室を公開することについてどう考えますか？

* 本学発展のため積極的に受け入れるべき。
* 講座は良いが動物実験施設（共同実験区域）は不適切だ。
* 全て受け入れるべきではない。
* その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ご意見あれば欄外に自由記載ください。　　以上です。**ご協力いただきありがとうございました。**